



# 19MAGAZINE

19UNLIMITED PRESENTS

Please read on!

SHUNTARO AOKI

一級建築士 青木俊太郎の建築の知識が豊かになるコラム

## 旅と僕と名建築



「長良川国際会議場」岐阜県岐阜市(1995年オープン)



今回紹介する建物は岐阜県岐阜市にある「長良川国際会議場」。安藤忠雄氏の建築らしさが全面にあふれるコンクリート造で、楕円球形のファサードが長良川の橋を歩いている時から存在感を放っていました。屋上からの石階段は地上まで続いており、素材感が出る粗削りの石張りにすることで人工物であるコンクリートとは違った、川から山へと延びる稜線に自然と生まれたような雰囲気を感じます。

屋上のトップライトには5mくらいの高さがあるキューブが同じ間隔で4ヶ所並んでいます。屋上のフラットな平面にいきなりそびえたつキューブ群が異質でありながらも、ガラス越しに空を感じられることで、天空に浮かんでいるガラスの直方体という、建築よりもオブジェ

に近い印象を受けました。そこから差し込む光が室内のアトリウムへとつながっており、地上からトップライトまでの角柱とそれを取り囲む回遊式通路、手すりのブルーの乳白色のガラスパネルがトップライトからの自然光を浴びて際立っていて、神秘的で芸術的な空間設計に言葉を失いました。

土地や風景と建物を馴染ませ、違和感を隠しながらも個性を放つ。ぜひ一度は現地で体感して頂きたい圧巻の名建築です。

### 旅のおしえ

～土地と建築の馴染ませ方～

川からの稜線を立体的に表現するだけでなく、マテリアルにまでこだわること、より空間に本物感が出ることを改めて感じました。

SHIHO KAKISAWA

空間プランナー 柿澤志保が至極のインテリアを紹介するコラム

## わたしが選ぶインテリア



今月は『薬玉(くすだま)』

端午の節句に欠かせない菖蒲の葉とヨモギを束ねた薬玉。健康の祈りを込めて、吉祥結びで飾り付け。複数吊り下げても◎



端午の節句は男の子が健やかに成長することを願う行事ですが、元々は老若男女問わず邪気を払い、長寿を祈る日でした。旧暦の5月5日は梅雨時期で物が傷みやすく、体調を崩しやすいことから邪気も多いとされてきたようです。そのため邪気払いや厄除け、長寿の祈りを込めて「薬玉」をしつらえていました。今回は、インテリアとして飾りたくなるハーブを

詰めた薬玉をご紹介します。運動会やお祝い事で見かける薬玉は、元は端午の節句のしつらえ飾りで、香りの強い葉草を袋に詰め菖蒲や五色の糸を使って装飾したものです。難しく見えるかもしれませんが100円ショップでも手に入る「クラフトバンド」さえ用意すれば、あとは家にあるもので作れます。コットンにアロマオイルなどを染み込ませたものを入れてもよし!

DAWEI LI

営業 李大偉がスムーズな建設プロジェクト方法を紹介するコラム

## プロジェクトマネジメントのコツ



Vol.17 倉庫や工場の建設には地盤調査が重要

前回に続き、倉庫や工場を建てる際の地盤の強さについてご紹介します。建物を支える「支持層」と呼ばれる地盤の強さは、一般的に砂質地盤であればN値30以上、粘土質地盤であればN値20以上が望ましいとされています。N値とは土の締めまり具合や強度の基準となる数値です。標準貫入試験値とも呼びます。地盤の強さを示す指標の1つ

で、N値が高いほど土地が強く締まっていることを示します。一方、土地が重量物を支える力を「地耐力」といい、単位はkN/m<sup>2</sup>です。N値×10で求められ、1mあたり何kNの力に耐えられるかを示します。N値が30の土地であれば地耐力は300kN/m<sup>2</sup>で、1mあたり300kNの力に耐えられるということになります。

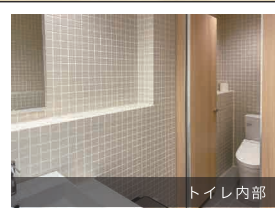


「トップファクトリー」サイトはこちら

LIA HIYAMA

デザイナー トイレ研究家・日山莉愛のトイレデザインレポート

## トイレデザイン日記



今回は学校のトイレを取り上げます! 皆さんは小学生の頃、学校のトイレに行くのが嫌だった経験はありませんか? 現状の学校のトイレは3K(臭い・汚い・怖い)と言われており、あまり良い印象を持たれていません。陶器のトイレで有名なTOTOが行った調査からも「学校のトイレに行くのが憂鬱だ」と感じている生徒が多いことは明らかになっています。頻りに利用するトイレが使いにくい場所になってしまっていることは問題だと感じます。そこで、今回は3Kという印象を変えるべく、リノベーションによって学校から商業施設に生まれ変わった学校トイレをご紹介します!

訪れたのは山形市にある「Q1」。かつて3Kのトイレだったとは思えないくらいに綺麗に改修&整備されていました。トイレの内部は明るく、それぞれのトイレに繋がる通路は薄暗くなっています。通路を最小限のライティングすることでまるで洞窟の中にいるような、ワクワクする演出がされていました。

元々、不気味な印象だった学校のトイレも少し演出を加えるだけでネガティブな印象からポジティブな印象に変わります!

学校のトイレも商業施設のように整った設備とデザインに変えていくべきではないでしょうか。

Q1 〒990-0043 山形県山形市本町1丁目5-1-9 営業時間/9:00~22:00

やまがたクリエイティブシティセンター「Q1」は山形市立第一小学校の旧校舎をリノベーションした施設。レンタルスペースやショップ、定期的にマルシェやアートイベントも開催。

Follow Me / トイレ研究家・日山莉愛 Instagramはこちら!



AYANA MORI

グラフィックデザイナー 森居綾那のリアルタイム子育て絵日記

## おかーさんにっき



これ!! おすすめ

## 私が紹介したいオススメの一品

漁師料理「かなや」@千葉県富津市



一口目の感動が溜まらない2,035円の大アジフライ定食。フワフワ&肉厚&ジュシーで、骨までカリッと美味しく頂けます。アジが大好きな私がオススメする一品です!



アジの活造りもおすすです。ぜひ現地で食べてみてください!

## < ジュークの最新ニュースはこちら >

NEWS

新スタッフ吉浜知輝が入社しました

アメリカ留学、出身地・岩手県宮古市の地域おこし協力隊を経て、プロジェクトマネージャーとしてジュークにジョイン。海外経験を活かし、ワールドワイドな活躍を期待しています。よろしくお祈りします!



NEWS

レッドブル主催チャリティーラン参加

5/8に岩手県矢巾町で世界同時スタートの「WINGS FOR LIFE WORLD RUN2023」に参加しました。世界192国籍20万人以上が参加し、参加費全額が脊髄損傷の治療法研究へ寄付。雨の中、無事に完走しました!



NEWS

会長・望月スペイン巡礼の旅へ出発

望月の2023年バケツリストの1つ「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」に向けてスペインに出国しました。2ヶ月弱をかけてバスク地方〜ピレネー山脈の800km以上を徒歩。長い旅の始まりです。



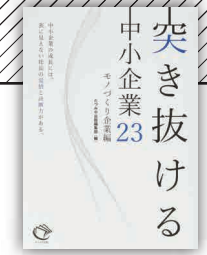
INFORMATIONS ●5/19 ジュークアンリミテッド6年目に突入! ●6/23 ベンチマーク視察団@埼玉・深谷 ●6/21-23 日本ものづくりワールド出展@東京ビッグサイト

## ブランディングに役立つ本と映画ご紹介

ジュークおすすめ! BOOK

突き抜ける中小企業23 モノづくり企業編

たつみや出版編集部 (著) 2022年 たつみや出版



トップ記事で取り上げたシンコーメタリコンの働き方は多くのメディアに掲載されています。中でも最新の1冊をご紹介します。日本の企業数99.7%、雇用者は7割を占めるのが300名以下で構成される中小企業です。その中でも視点・取り組み・業態などが突き抜けており、「生き生きと働く」製造業23社にフォーカス・取材しています。

ジュークおすすめ! MOVIE

007スカイフォール

2012年 イギリス・アメリカ 監督: サム・メン德斯 主演: ダニエル・クレイグ



シンコーメタリコン新工場オープニングパーティのクリエイティブで参考にしたのがこちらの作品。007はどの作品も最高ですが、特にスカイフォールはシリーズ50周年を記念して撮影された最高クオリティと名高い傑作。次なる50年「NEXT50プロジェクト」を控えるシンコーメタリコン様にも重なる一作。

IF YOU WANNA BE UNLIMITED, YOU SHOULD READ THIS!



TEL 019-601-6619 FAX 019-601-6719 SITE 19unltd.co.jp





# シンコーメタリコン様 新工場オープン！

シンコーメタリコン様HPはこちら↓



328名のゲストが招かれた新工場オープニングパーティーの様子（新工場内）

※溶射とは…金属やセラミックス、サーメット（切削工具に使われる材質）などを様々な熱源を用いて溶融噴射し、基材表面に材料を噴きつけて機能皮膜を形成する表面改質技術のこと（シンコーメタリコン様HPより）

「ジュークが運営する“魅せる工場”建設ブランド「トップファクトリー」の第1号となるシンコーメタリコン様（滋賀県湖南市/溶射業）の新工場オープニングパーティーが5/10に開催。設計・デザインした新工場には328名のゲストが参加されました。

## 次なる50年を見据えて

今年創業90周年を迎えた株式会社シンコーメタリコン。「滋賀でいちばん大切にしたい会社」「ホワイト企業大賞」受賞など知名度&ブランド力が高い企業です。日本溶射工業協会会長も務めており、普段から同業・異業種・行政、そして海外から見学者が多く、大型バスでの見学受入も日常的に行っています。創業の地・京都から滋賀に本社と工場を移して50年。さらに次なる50年を見据え「未来にツナグNEXT50プロジェクト」を立ち上げ、1stステージとして新工場をトップファクトリーと共に建設。

## 黒×黄色の魅せる工場

製造業は安全第一。注意喚起を促す黒&黄色を工場のメインカラーとして大胆に配置。工場入口には創業のDNAを毎日感じることでできる創業

者のイラストを。さらに各作業部屋の扉にはビッグサイズのサインを配置。工場外壁には大人数でも撮影可能な6mの会社ロゴフォトスポットを。大人だけでなく、地域の子どもの工場見学も多いからこそ、わかりやすく映えるサインを施しました。忍者の里甲賀にちなみ、工場裏側には忍者シルエットのサインを！電車でお越しになると忍者がチラッと見える遊び心も加えました。そんなワクワクする“魅せる工場”がこの度完成しました。

## 映画監督社長ならではの感性

大阪芸術大学映像学科を卒業した立石社長。同級生にはあの庵野秀明監督（代表作「エヴァンゲリオン」「シン・ゴジラ」等）も。製造業の社長でありながらクリエイターであり、当社メンバーとも波長が合うクリエイティブ気質・ノリの良さ・思い切りの良さがまるで1本の映画を撮っていたような建設プロジェクトでした。2020年3月にキックオフした際に、サプライズでディレクターズチェア・カチンコ・立石組Tシャツをプレゼント。途中コロナ禍で中断した時もありましたが、3年の月日を経てようやく工場が完成しました。

## パーティーをプロデュース

建物を設計して終わりじゃないのがジュークの強み。どうお披露目するか？にもこだわり、新工場を会場にパーティーを1からプロデュースしました。映画の世界観を大切に進めたこのプロジェクト。お披露目にも、とことん映画を盛り込むことをアドバイス。コロナが5類に移行後、一粒万倍日という縁起の良い5/10をパーティー日に設定しました。製造業というクールなイメージとスーツにこだわりがある社長からインスピレーションを得て映画「007」をメインテーマに決定。招待状などの各種ツールデザイン、会場装飾ディレクション、動画や音楽に至るまで徹底的にプロデュース。芸妓・舞妓さんによる祝舞、有名イタリアンシェフによるお料理も加わり、工場内とは思えないような華やかなパーティーに328名のゲストが酔いしました。「最高！」「さすが！楽しかった」とメッセージを残してくださったゲストもおり、熱狂冷めやらぬ中でパーティーは無事終了。「本当にやってよかった、感動した」と普段涙を決して見せない立石社長の男泣きに感動した素晴らしいプロジェクトでした。



レッドカーペットが敷かれた入口



随所に配置したビッグサイズのサイン



アワードを受賞し皆さんと記念写真

## ON-GOING PROJECTS

進行中プロジェクトをチラ見せ

No.17

## ユタカ電業株式会社 本社工場新築プロジェクト@山口

〜新本社工場建設につながる  
旧本社解体セレモニー〜



現本社前で最後の集合写真



地元園児による本社お絵描きイベント

山口県に本社を置く鉄道の情報通信機器製造会社「ユタカ電業株式会社」

## 感謝を示す本社解体セレモニー

2021年11月から本社建設プロジェクトをスタート。2023年中の着工を目指し実施設計の真最中です。すでに本社解体に向けスタッフ・本社機能は仮事務所に引越済。4/8には現社屋に感謝を伝える解体セレモニーが開催されました。ブランディングチームが主催し、社屋に込められた創業者の思い・社長の思い・社屋での様々な思い出を全社員で共有。感動で社長や参加者が共に涙する場面も…。

## 新本社に繋げる地域イベント

3月に地元保育園にお声がけし、園児のお絵描きイベントを開催。大きくなったらやりたい仕事や、ユタカ電業が大切にしている桜の木を本社をキャンパスにして大胆にお絵描き。20年後、この日お絵描きした園児が入社！なんてことがあると素敵ですね。新社屋は本業を突き詰めるだけでなく、人・情報・地域・未来と繋がるような施設として

成長していきます。建設打合せをただ進めるのではなく、新社屋での活動を今のうちから体现するのがブランディングプロジェクト。建設チームとブランディングチームの連携が大切です。

## 全社でブランディング研修旅行

5月にはブランディングチーム発案で、新社屋を目指す姿・機能を体感すべく全員研修として尾道視察を実施。施設と地域の理想的な関わり方、軸のある取り組み事例、魅せる本社見学ツアーなどを皆で学びました。旅のしおりを作り、チームに分かれてフォトスポット巡りをするなど遊び心を忘れない企画力が身につく、ブランディングチームも頼もしく成長しています。

建設と並走してブランディングを丁寧に実行できる企業はあまり多くはありません。鈴木社長のブランディング・本社にかける強い思いを、ジューク全員体制でサポートしていきます！

## No.17 加藤の社長ブログ

Design Executive Officer

# DEO NOTE



19歳当時の加藤

## 19歳を振りかえって

先日、新しいスタッフを迎え入れたこともあり、改めてジュークアンリミテッドという会社を振り返りました。社名の由来の1つはジューク=19歳。高校時代に終わりを告げ、20代という世間的大人と呼ばれる入り口がすぐそこに控えている年。進学、就職と親元から離れ自身の裁量で生活をする人も多く、ライフスタイルの大変化を迎える世代でもあります。いわば19歳は子供と大人の境目。ちょっとセンチメンタルで、でもワクワクするし、エネルギーが溢れている19歳。そんな19歳の気持ちを忘れず大人になっても働いていきたい、という思いが社名にも込められています。

## 驚きと笑いに包まれる皆の19歳

社内でやっている月1ブランディングワーク。番外編として「19歳の時、何してた？」というワークをしました。加えて、幼い時どんな子だったか？という自身のDNAにも触れてもらいました。子供の時の写真、若かりし時の写真も披露されワークは大盛り上がり。20代から70代までが一緒にいるジューク。意外な過去、時代背景と合わせて「懐かしい」という声や「その時小学生でした」「まだ産まれてませんね」など驚きや笑いに包まれた90分でした。幼少期の性格や今の仕事を選ぶきっかけとなった幼い頃の体験を聞いたり、普段知っているようで知らない一面をたくさん見つけられて良い時間となりました。

「19歳の時、何してた？」このワークはセルフブランディング・チームビルドにおすすめです。19歳の時の懐かしい写真も忘れずに！（気になる記事の続きは下記QRコードから！）↓



上記ブログ続きは右記QRコードからnoteで読めます →→→

